

第11回 美しい日本のむら景観コンテスト

むらづくり対策推進本部長賞

文化部門

五穀農穰を祈る(伊作田踊り)

ひがしいちきちょういざくだ ひおきし
鹿児島県東市来町伊作田(現日置市)



東市来町は、薩摩半島のほぼ中央に位置し、東シナ海に面した江口浜は緑豊かな山々、さらには、400年の歴史を誇る湯之元温泉や陶郷として名高い美山など、自然や歴史、文化のあらゆる面において特色のある資源を有している町である。

伊作田踊りは、南北朝時代に城攻めに失敗し、捕らわれ悲運の最後を遂げた伊作田城主、伊作田道材の霊をしのぶ踊りが起源とされ、虫追い、五穀豊穰をも祈る。踊りは伊作田地域の住民でつくる伊作田協議会が保存にあたっており、小学生から青壮年までの踊り手が3年に1回披露する。伊作田道材とその家族に扮するかね役を中心に小太鼓、なぎなた、鉄砲など約60人で構成された踊り手は、厳しい暑さの中、哀愁を帯びた歌にのって踊りを披露する。